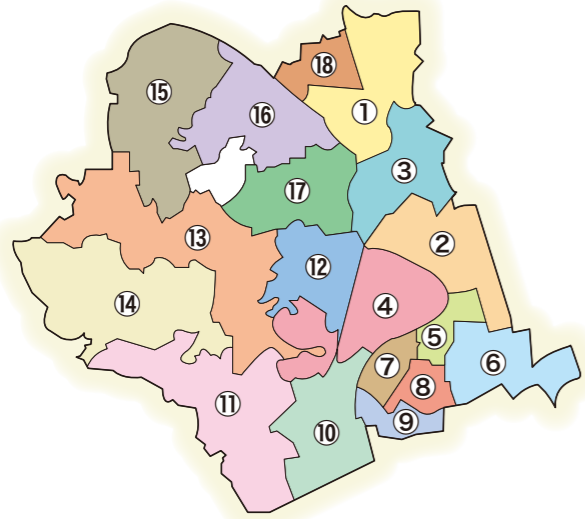


地区別計画とは、連合町内会単位に目標を立て、「できることから一歩ずつ進めていこう」と、地区の特徴を踏まえて取り組む活動をまとめたものです。



各地区では  
こんな取組が進んでいます

世代間交流、高齢者の見守り、地域の情報紙づくりなど、地区の状況に応じた活動が行われ、顔の見える関係づくりが進んでいます。



① 矢向	誰もが安心して暮らせる矢向のまち
② 市場	声かけて 笑顔でつながる 市場地区
③ 市場第二	好きです市場第二 みんなの笑顔が見られる町に
④ 鶴見中央	あいさつと声かけでつながる鶴見中央
⑤ 潮田中央	地域とかかわりやすい「まちづくり」
⑥ 潮田東部	声かけて 心がつながる 潮田東部
⑦ 潮見橋	住んでよかった潮見橋 ～人は親切 心が触れ合う～
⑧ 潮田西部	まちづくり 絆づくりと健康づくり
⑨ 小野町	地域みんなでつながろう
⑩ 生麦第一	人とひととのつながりを大切に育てます。
⑪ 生麦第二	明るく 楽しく 元気よく！ みんな「あいさつ」できるまち
⑫ 豊岡	笑顔で元気な町づくり
⑬ 寺尾	ふんわりとしたつながりで、 このまちの福を育てよう！
⑭ 寺尾第二	世代を超えて 未来につなごう 地域の輪
⑮ 駒岡	地域みんなでつながるまちづくり
⑯ 上末吉	交流を深め、ささえあう、 住みよい上末吉地区を目指して
⑰ 下末吉	さらに住みよい下末吉地区をめざして
⑱ 江ヶ崎	支えあう・助けあう町 江ヶ崎

地域福祉保健計画がなぜ必要なのでしょう

鶴見区は、高齢化の進行などに伴い、更なる支援が必要な方の増加や支え手の不足が予想されています。地域活動が盛んで様々な取組が行われている一方で、転入者が市内でも多く、地域のつながりの希薄化などの課題もあり、身近な地域の支えあいやつながりづくりが必要になってきています。そのため、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせるための取組を進めることが、今後さらに求められています。

# 第3期 鶴見・あいねっと

## (鶴見区地域福祉保健計画)



東京オリンピックが開かれる頃  
鶴見がこんなまちに  
なっているといいな  
〈地区での話し合いで出された 100の夢 100の想い〉

「第3期 鶴見・あいねっと」は、  
そんな夢や想いがこめられた、  
区民の皆さん、関係団体・機関、  
事業者と一緒に取り組む計画です。

お互いが一歩進んで  
理解を深めることが  
できるといい。

大人も子どもも  
誰でも挨拶が  
出来るようにしたい。

世代を問わず  
交流できる場所が  
欲しいな。



### 「鶴見・あいねっと」とは

鶴見区を健やかに暮らせてつながりあうまちにするための「鶴見区地域福祉保健計画」の愛称です。公募で名付けられ「たすけあい・支えあい・人と人のネットワーク」の意味が込められたものです。

鶴見区では、子どもも大人も、高齢者も障害者も、誰もが安心して生活できるまちづくりのための活動を「あいねっと」と呼び、区民の皆さん、関係団体・機関、事業者とともに進めています。

鶴見・あいねっとは、区全体計画と地区別計画の2層で構成されています。

推進の柱① つながりのある地域づくり

キーワード

交流 人材



行動目標と取組例

目標①

世代間の交流を進めます

- あいさつや声かけの実施
- 子どもとともに地域活動の企画

目標②

地域の団体や関係機関の連携を深めます

- 自治会町内会、近隣施設、専門機関との関係強化

目標③

幅広い住民の参加を促し、地域活動の担い手を育てます

- 地域活動へ一歩踏み出す後押しをする取組
- 高齢者の力の活用

目標④

地域活動や個人、団体をつなぐコーディネーターを育てます

- 手助けを必要とする人とボランティアをする人のつなぎ役の育成

推進の柱② 必要な人に支援が届く仕組みづくり

キーワード

支えあい 見守り 情報 互いの理解



行動目標と取組例

目標①

誰もがどこかにつながるような支えあいのネットワークをつくります

- 支援を必要としている人を把握し支援につなげる取組

目標②

見守りの輪を地域全体に広がります

- 隣近所での見守り
- 災害時に備えた共助の取組

目標③

必要な情報をわかりやすく届けます

- 子どもにもわかりやすいお知らせ
- 情報発信方法の工夫

目標④

地域の中で共に暮らすということを意識します

- 多文化共生、障害、認知症等への理解啓発

推進の柱③ 健やかに暮らせる地域づくり

キーワード

健康 場・機会



行動目標と取組例

目標①

地域での健康づくり活動に取り組みます

- 自分の健康状態を知る機会づくり
- 住民の健康づくりにつながる活動(ウォーキング、健康体操等)
- 各種団体の活動や行事そのものが健康につながる取組

目標②

意欲と能力を発揮でき、いきいきと暮らせる場や機会をつくります

- 個人の能力や特技を発揮できる出番づくり
- 既存の活動の頑張りへの評価
- 世代を問わず気軽集える場づくり(交流サロンの開設等)

鶴見区の現状

- 多くの方が転入しています。  
※社会増加数:市内第3位(平成26年)
- 子どもが増えています。  
※就学前児童数:市内第2位(平成27年4月)
- 地域活動の担い手が高齢化し不足しています。  
※自治会町内会加入率:78.7%(平成27年4月)

鶴見区の現状

- 外国人の方が多く暮らしています。  
※外国人住民数:市内第2位(平成27年3月)
- 高齢者が増えています。  
※高齢化率:20.0%(5年前比 2.1%増加)  
高齢者人口:市内第6位  
(ともに平成27年1月)

鶴見区の現状

- 健康状態が心配です。  
※平均寿命(男性):市内第17位  
平均寿命(女性):市内第14位  
健康寿命(平均自立期間)(男性):市内第17位  
健康寿命(平均自立期間)(女性):市内第16位  
(ともに平成23年)